

TOSHIBA

東芝パッケージエアコン（天井吊形）用別売部品 ドレンアップキット取付説明書

形名 TCB-DP23C

このたびは東芝パッケージエアコン（天井吊形）用「ドレンアップキット」をお買いあげいただきまして、誠にありがとうございました。取り付けに際しては、この説明書をよく読み、正しい取付が行われますようお願いいたします。
この取付説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

安全のため必ず守ること

- ご使用前に、この「安全のため必ず守ること」をよくお読みのうえ取付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

| | |
|-----------|---|
| 警告 | 誤った取扱いをしたとき、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。 |
| 注意 | 誤った取扱いをしたとき、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があるもの。 |

- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、いつでも見られる場に大切に保管し、移設・修理のときは、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。

| | |
|--|--|
| 警告 | |
| 取付けは、専門業者に依頼する ご自分で取付け工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。 | 取付工事は、この取付説明書に従って確実に 取付けに不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。 |
| 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部はケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する 接続や固定が不完全な場合は、発熱や火災などの原因になります。 | 電気工事は、電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回線を使用する 電気回路容量不足や施工不備があると、感電や火災の原因になります。 |
| 加湿器、暖房用電気ヒーターなどの別売品は必ず、当社規程の製品を使用する また、取付けは専門の業者に依頼してください。ご自分で取付けられ、不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。 | 改修は絶対にしないでください。また、修理はお買い上げの販売店にご相談ください。 修理に不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。 |

取付けをする前に

| | |
|--|--|
| 注意 | |
| 食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しない 食品の品質低下などの原因になります。 | 特殊環境には使用しない 油・蒸気・硫化ガスなどの多い場所で使用すると性能を著しく低下させたり、部品が破損することがあります。 |
| 病院、通信事業所などに据付される場合は、ノイズに対する備えを十分に行なって施工する インバーター機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤動作や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因になります。 | 濡れて困るものの上にユニットを据付けない 湿度が80%を超える場合やドレン出口が詰まっている場合は、室内ユニットからも露が落ちる場合もあります。また、暖房時には室外ユニットよりドレンが垂れますので、必要に応じ室外ユニットも集中排水工事をしてください。 |

取付け（移設）・電気工事をする前に

| | |
|--|---|
| 注意 | |
| 電気配線は張力がかからないように配線工事をする 食品の品質低下などの原因になります。 | 製品の運搬には、十分注意する ●20kg以上の製品の運搬は、1人で行わないでください。 ●製品によってはPPバンドによる梱包を行っていますので、危険ですので運搬の手段に使用しないでください。 ●熱交換器フィン表面で切傷する場合がありますので、素手で触れないように注意してください。 ●包装用のポリ袋で子供が遊ばないように、破いてから破棄してください。窒息事故等の原因になります。 |
| ドレン配管は据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないよう断熱処理をする 配管工事に不備があると、水漏れ、天井・床、その他家財などを濡らす原因になります。 | 梱包材の処理は確実に ケガの原因になる場合があります。 |

試運転する前に

| | |
|--|--|
| 注意 | |
| 濡れた手でスイッチを操作しない 感電の原因になります。 | パネルやガードをはずしたまま運転しない 機器や回転物、高温部、高電圧に触れると巻き込まれたり、火傷や感電の原因になります。 |
| エアフィルターをはずしたまま運転しない 内部にゴミが詰まり、故障の原因になります。 | 運転停止後、すぐに電源を切らない 必ず5分以上待ってください。 水漏れや故障の原因になります。 |

1. 適応機種 AIC-AP224形, AP280形, GP224形, GP280形

2. 部品 この箱の中には、この説明書の他に下表に示す部品が入っていますのでご確認ください。

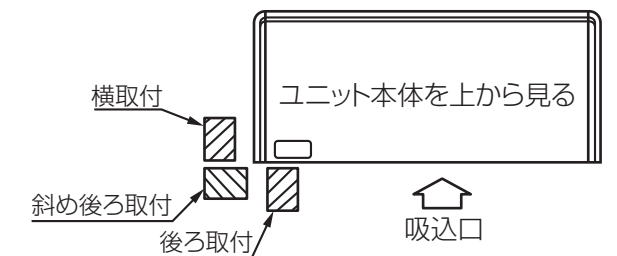
注. ドレンアップキット本体①と化粧カバー⑦はネジ止めて梱包されています。取付作業を行う前にネジを取外してください。

| | ①ドレンアップキット本体 | ②取付板1 | ③取付板2 | ④取付板3 | ⑤補強1 | ⑥補強2 | ⑦化粧カバー | ⑧ドレンホース1 | ⑨ドレンホース2 |
|----|--------------|-------|-------|---------|---------|------------|------------|----------------|----------------|
| 個数 | 1個 | 1個 | 1個 | 1個 | 1個 | 1個 | 1個 | 1本 長さ=340mm | 1本 長さ=375mm |
| 形状 | | | | | | | | | |
| | ⑩継手 | ⑪配線組立 | ⑫バンドイ | ⑬シールテープ | ⑭ホースバンド | ⑮PTTネジ4×10 | ⑯プラスネジ4×12 | ⑰座付タッピンネジ5×10 | ⑱絶縁布 |
| 個数 | 1個 | 1本 | 2本 | 2個 | 3個 | 4本 | 4本 | 8本 | 1枚 |
| 形状 | | | | | | | | | |

3. 取付要領

この別売部品は、取付位置を3ヵ所から選択できます。（右図）

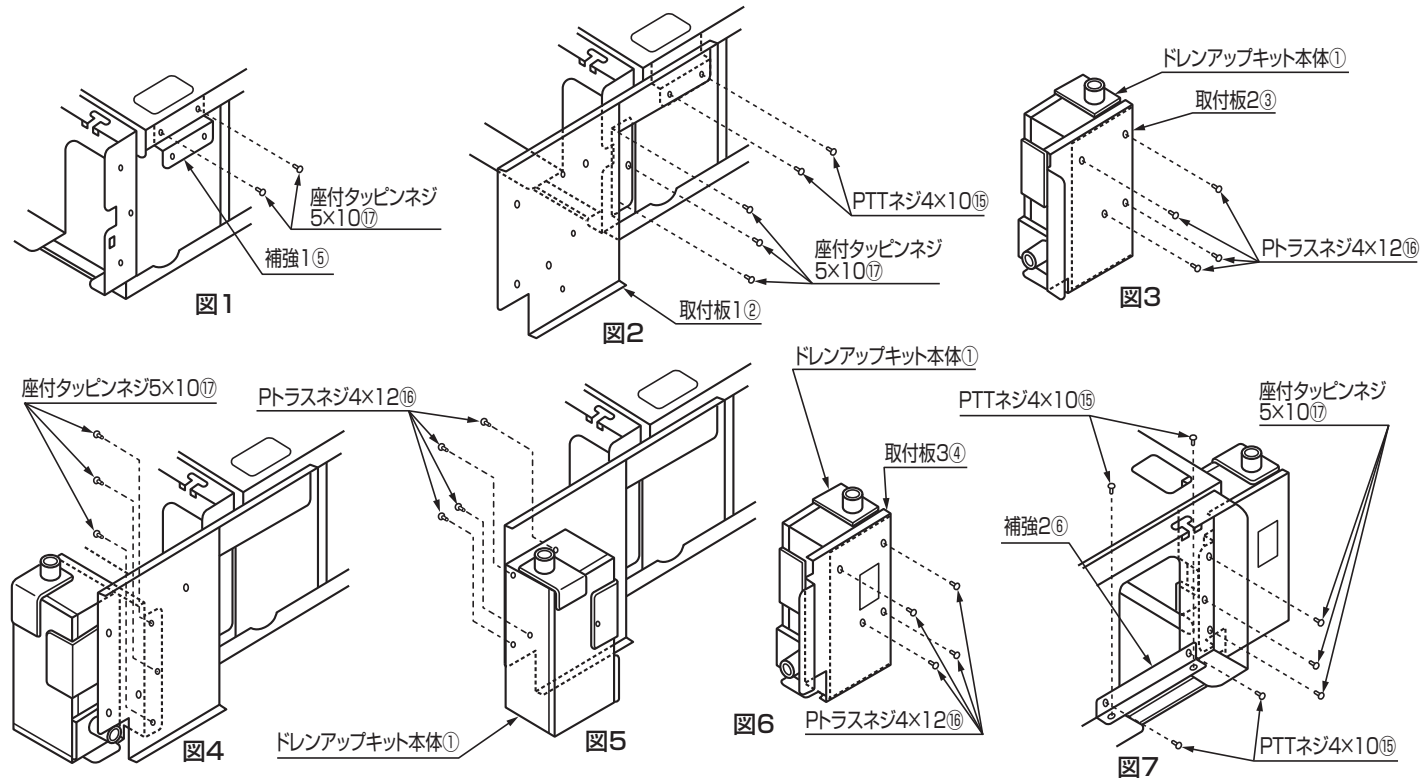
- 注1. 作業を行う前に必ず主電源のOFFを確認してください。
- 注2. 作業は必ず軍手・腕指し等保護具をつけて行ってください。



1. ドレンアップキットの取付

下表の作業手順に従って取付けてください。
取付位置によって手順が異なりますので
ご注意ください。
(①、②、③…の順番で作業してください。)

| ドレンキャップキットの取付位置 及び手順 | | | 作業内容 | 図解 |
|----------------------|--------|------|-------------------------------------|----|
| 横取付け | 斜後ろ取付け | 後取付け | | |
| ① | ① | ① | 右側のサイドパネルを外してください。(ネジ1本) | |
| ② | ② | — | 補強1⑤を本体後ろ側に取付けてください。 | 図1 |
| ③ | ③ | — | 取付板1②を本体後ろ側に取付けてください。 | 図2 |
| ④ | — | — | ドレンアップキット本体①に取付板2③を取付けてください。 | 図3 |
| ⑤ | — | — | 前期項目で組立てたドレンアップキットを、取付板1②に取付けてください。 | 図4 |
| — | ④ | — | ドレンアップキット本体①を、取付板1②に取付けてください。 | 図5 |
| — | — | ② | ドレンアップキット本体①を、取付板3④に取付けてください。 | 図6 |
| — | — | ③ | 前期項目で組立てたドレンアップキットを、本体横側に取付けてください。 | 図7 |
| — | — | ④ | 補強2⑥を本体横側に取付けてください。 | 図7 |

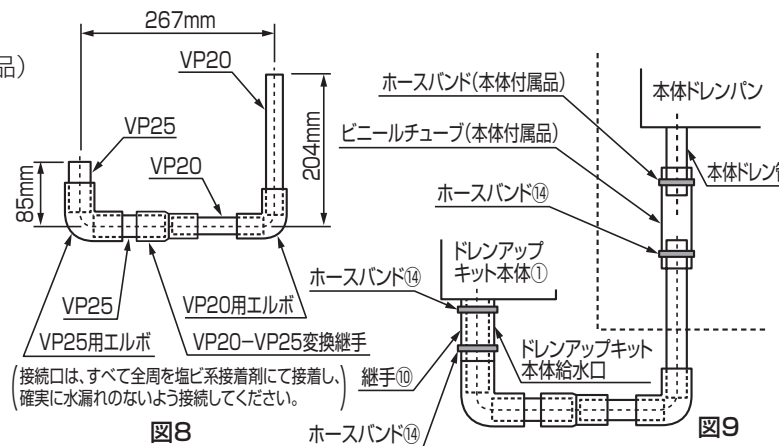


2. ドレンホースの取付

〔1〕横取付けの場合

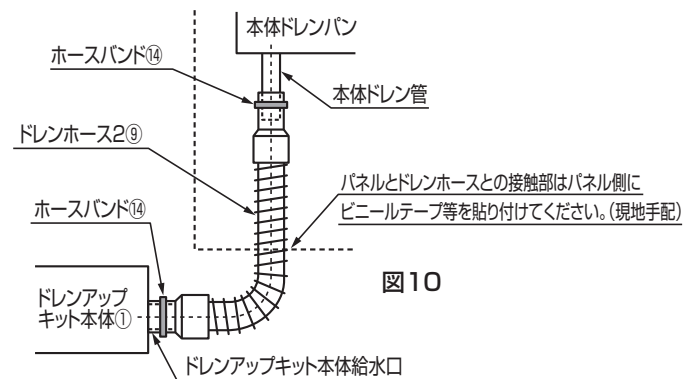
- 図8に示す形状の配管を用意してください。(現地手配品)
- 本体ドレン管に本体付属のビニールチューブを付属のホースバンドで固定してください。(図9)
- ドレンアップキット本体①のドレン給水口に継手⑩を取付け、1) で用意したドレン管を取付けてください。(図9)

- 注1. 作業接続口(4カ所)は、全周を塩ビ系接着剤にて接着し、確実に水漏れのないよう接続してください。
注2. 接続口は、ホースバンド⑭にて固定(4カ所)してください。(ホースバンド⑭のネジ部は、上にして固定してください。)
注3. 以上完了後、ドレン配管部に断熱パイプを巻き十分に断熱処理をしてください。



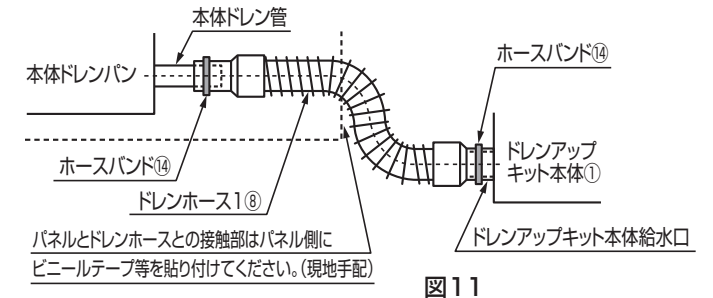
〔2〕斜後ろ取付けの場合

- 本体ドレン管と、ドレンアップキット本体①のドレン給水口をドレンホース2⑨にて接続してください。(図10)
- 注1. 接続口(2カ所)は、全周を塩ビ系接着剤にて接着し、確実に水漏れのないよう接続してください。
- 注2. 接続口は、ホースバンド⑭にて固定(2カ所)してください。(ホースバンド⑭のネジ部は、上にして固定してください。)
- 注3. 以上完了後、ドレン配管部に断熱パイプを巻き十分に断熱処理をしてください。



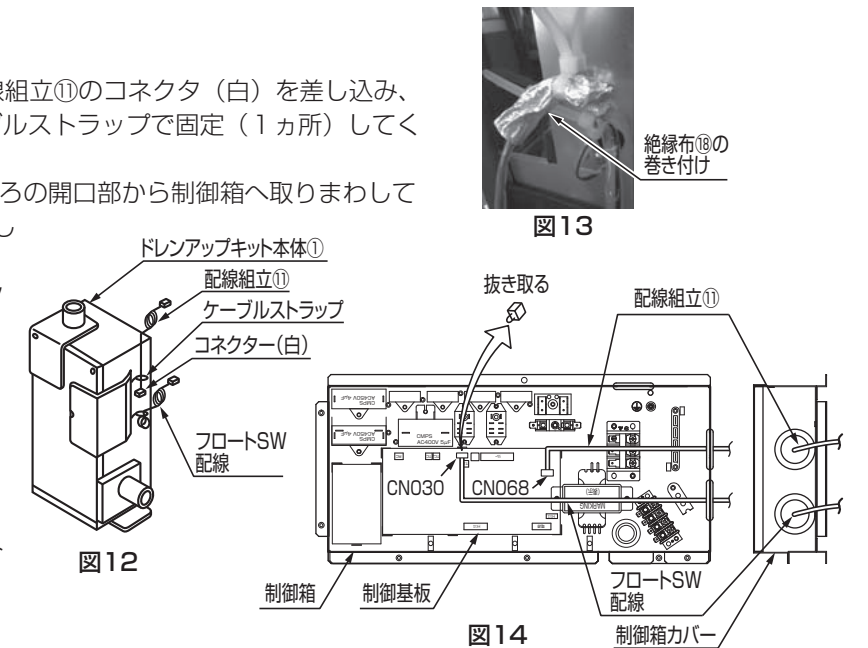
〔3〕後ろ取付けの場合

- 本体ドレン管と、ドレンアップキット本体①のドレン給水口をドレンホース1⑧にて接続してください。(図11)
- 注1. 接続口(2カ所)は、全周を塩ビ系接着剤にて接着し、確実に水漏れのないよう接続してください。
- 注2. 接続口は、ホースバンド⑭にて固定(2カ所)してください。(ホースバンド⑭のネジ部は、上にして固定してください。)
- 注3. 以上完了後、ドレン配管部に断熱パイプを巻き十分に断熱処理をしてください。



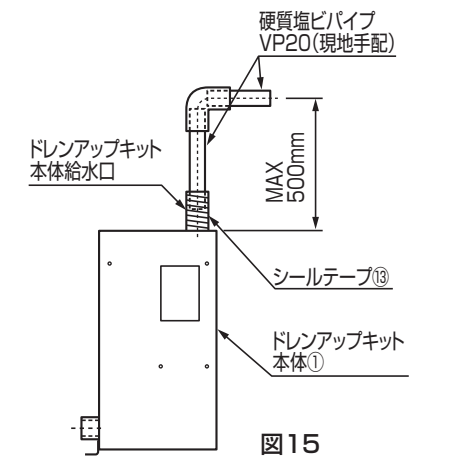
4. 電気配線

- 制御箱カバーを外してください。(ネジ2本)
- ドレンアップキット本体①のコネクタ(白)に配線組立⑪のコネクタ(白)を差し込み、コネクタ部を絶縁布⑮で巻き付け後、配線をケーブルストラップで固定(1カ所)してください。(図12、13)
- 配線組立⑪及びフロートSW配線の経路は、本体後ろの開口部から制御箱へ取りまわしてください。制御箱内の配線経路は(図14)を参照してください。
- 配線組立⑪のコネクタ(青)を制御基板上のコネクタ(CN068)へ、フロートSW配線のコネクタ(赤)を制御基板上のコネクタ(CN030)へ、それぞれ差し込んでください。(図14)
※最初からコネクタ(CN030)に差し込んでいるコネクタを抜き取ってフロートSW配線のコネクタを差し込んでください。
- 制御箱カバーの配線穴から配線組立⑪及びフロートSW配線を貫通させた後、制御箱カバーを元どおり取付けてください。(図14)
※配線組立⑪及びセンサー配線の長さが余った場合は、パンタイ⑯にて適宜結束してください。



5. ドレン配管

- ドレンアップキット本体①の排水口と、硬質塩ビパイプVP20(現地手配)を塩ビ系接着剤にて接着し、確実に水漏れのないよう接続してください。(図15)
- 接続部はシールテープ⑰を巻き付けてください。(図15)
- 注1. 立上げ寸法は、500mm以上にならないように施工してください。500mm以上になると、運転停止時におけるドレン水の逆流が多くなり、オーバーフローの原因になることがあります。
- 注2. 以上完了後、ドレン配管部に断熱パイプを巻き十分に断熱処理をしてください。
- 注3. ドレン配管の施工が下図のようにならないように注意してください。水漏れ及び露たれの原因になることがあります。
- 注4. ドレン配管の横引きは必ず1/100以上の勾配をとってください。



6. 試運転

- 注. 本体の電気工事、配管工事が完了してから行ってください。
- 室内ユニット本体のドレンパンに水を入れてください。
 - 室内ユニット本体の電源を入れて、ドレンポンプが運転し、ドレンアップキット本体①のドレンパン内の水が排水されていることを確認してください。
 - 確認後、ドレンアップキット本体①に化粧カバー⑰を取付けてください。(図16)
 - 右側のサイドパネルを元どおり取付けてください。(ネジ1本)

